

平成30年度 第1回大和市予防接種運営審議会 議事録

日 時:平成31年1月29日(火)午後7時30分から午後8時30分まで

場 所:大和市保健福祉センター 5階 501会議室

出席者:委員 7人:小林会長、横田委員、玉井委員、和田委員、芳沢委員、中井委員、粟生委員

事務局:6人:目代健康福祉部長、新比叡健康づくり推進課長、石川保健衛生・がん予防担当 係長、鈴木主査

1. 開会

挨拶:目代部長

本日は、公私ご多忙のなか、大和市予防接種運営審議会にご出席をいただき、また、今年度は改選の時期にもあたり、委員を新たにお引き受けくださり、厚くお礼申し上げます。

さて、予防接種をとりまく情勢は目まぐるしく変化しております。

今年度は、麻しんや風しんの流行から、MRワクチンの需要が急激に高まり、一部でワクチン不足の生じる事態となりました。風しんにつきましては、現在、国で追加的対策として定期接種を実施する方向で検討されております。また、成人用肺炎球菌ワクチンにつきましても、現行の経過措置について12月に国の方針変更がありました。このようにめまぐるしく状況が変化する中、市民に大きな混乱を招くことなく事態を乗り越えることができるよう、委員の皆様からご意見、ご指導等をいただくことができ、深く御礼申し上げます。今後とも、大和市予防接種事業の円滑な運営にご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

簡単ではございますが、本日の予防接種運営審議会が有意義な場となりますことを期待いたしまして、挨拶とさせていただきます。

2. 挨拶:小林会長

インフルエンザAの流行にあって診療が多忙な最中、お集まりいただきありがとうございます。1年ぶりの審議会開催となりました。1年を通じての予防接種に対する忌憚ない意見をお聞かせくださいますようお願いいたします。

3. 報告 ○:委員 ●:事務局

1) 平成27～30年度 定期予防接種実施状況(資料1-1、1-2)

○:子宮頸がんワクチンの接種者数は、積極的な干渉を差し控えているといえ、定期接種として実施している状況で年間 1 桁である。もっと伸びてもよいと思う。市民にとって子宮頸がんワクチンは無いものになっているのではないかと。接種勧奨になるのは問題だが、受けることができるという制度周知はして良いと考えている。2期ジフテリア破傷風ワクチンを受取る際に、子宮頸がんワクチンのことについて書かれた資料を渡すことができるとうい。厚生労働省のホームページでは子宮頸がんワクチンの現状について情報収集が難しい。重篤な副反応が起こった件数を示すなどしてほしい。ワクチンが怖いものという意識が先行している現状では、誰も接種を希望しないので、接種者数が1桁となっていると考えている。

○:子宮頸がんワクチンの接種者が増えるためには、個々の医師が説明するよりも、全体の制度が整備されていく必要があると思う。しかし、ワクチンに対するネガティブな意見もあるのではないかと。

○:実際に患者が失神する場面を経験した医師などは、接種に反対意見を持っており、こういう状況で患者に子宮頸がんワクチンの接種について対象者へ説明していくことが難しい現状である。

●:市の状況について説明させていただくと、被害者の会は設立されていないが、子宮頸がんワクチンの定期接種を反対する意見が市議会議員からあがっている。市として接種をしないよう指導するような要望もある。その中でフラットな情報を出すこと自体も難しい状況である。国の方針が出るまでは、市独自の行動はとりにくいと考える。

2) 間違い報告について・副反応、コッホ報告について(資料2)

●:直ちに重大な健康被害につながるおそれのある間違いは0件、それ以外の間違い報告が21件あり、昨年同時期と比較して4件増となっている。間違いの内容は対象年齢・接種間隔・接種回数に誤りに分類される。今後とも接種年齢等の確認にご協力をお願いしたい。
副反応報告は2件、コッホ事例は0件。

3) 大和市予防接種情報提供サービス「らくらく予防接種」実績報告(資料3)

4. 議題

平成31年度大和市予防接種事業案(資料4-1)

5. その他の連絡事項

1) 成人用肺炎球菌予防接種の方向性(資料5-1)

2) 風しんの追加的対策について(資料5-2)

●:現在も国のワクチン分科会予防接種基本方針部会で詳細事項を検討中のため、本市としては国や他市の状況について情報収集に努め、制度開始に向けた準備を進めている。

3) 予診票変更点について(資料5-3)

4) 市街協力医療機関のBCG定期接種について(資料5-4)

●:昨年度の運営審議会において、平成30年度はBCG定期接種を市外医療機関へ拡大することは見合わせると決議された。次年度以降の実施体制について協議願いたい。現在BCG定期接種を実施していない医療機関から、平成31年度からはBCG接種が可能となるか否かの問い合わせが数件ある。参考までに、今年度のBCG定期接種を実施している市外協力医療機関において、BCG接種実績は20件。

○:BCGの集団接種を実施している自治体からは、BCG以外の定期接種を受託している。BCGが個別接種の自治体については、BCGを含めた予防接種を受託している。定期予防接種実施医療機関を近隣市と相互乗り入れとした後に協力医療機関となった施設は、現在BCGを実施していないと考えてよいのか。

●:他市から市内の各医療機関へ委託内容については把握していないが、相互乗り入れ以降に協力医療機関になった施設では、BCG定期接種は実施していない。ただし、市外の医療機関でも、相互乗り入れ以前に市境に居住する市民の利便性を考慮し、個別契約を交わして大和市定期予防接種を依頼している医療機関では、BCGを含めた接種をしている。

○:BCG定期接種を市外協力医療機関へ実施するとすると、義務付けている研修会は対応できるか。

●:大和市のBCG定期接種開始前には研修を受けることを必須としているため、市外協力医療機関についても同様とする。

○:他市とイーブンの状態であることが望ましいという昨年度の審議会の意見は変わらない。個別接種の市と集団接種の市が相互に乗り入れることが不可である以上、市外協力医療機関への拡大は難しい。

●:では、今後他市の接種状況がすべて個別に切り替わった時点で再度ご検討いただくこととする。

○:親御さんの希望で、BCGを含めたすべての予防接種を、BCG定期接種をしていない市外協力医療機関で接種とすることは可能か。

●:定期接種としての対応は難しい。入院中や遠方への長期里帰り等でやむを得ない事情がある場合は、例外的に接種可能な制度はある。

5) 転出確定日以降の予防接種について(資料5-5)

6. 閉会